

札幌駅前通交通社会実験の実施と創成川通地上部の再整備に関する 市民意見の募集について

札幌駅前通と創成川通の整備については、平成 15 年度からの市民議論の結果を踏まえて、市民意見を反映しながら進めていくこととしています。

そこで、明日から、札幌駅前通では、社会実験を行い、道路空間利用に関するルール化のための検証を行うとともに、創成川通については、まちづくり広場を設け、整備内容に関する市民意見を募集します。

札幌の都心において重要な位置を占める 2 つの通りの整備について、今後も市民の意見を聞きながら進めていきます。

1 札幌駅前通交通社会実験の実施

札幌駅前通は「にぎわいの軸」として、地上、地下、沿道が一体となった空間づくりを目指しており、札幌駅から大通までの区間において、地下歩行空間の整備とともに地上部の再整備を進めることとしています。

本年 7 月に策定した「さっぽろ都心交通計画」では、人と環境を重視した新しい時代の都心交通の実現を目指しており、この中では札幌駅前通をアクセス機能（沿道建物への出入りと歩行者空間としての機能）を向上させる道路として位置付けています。このため地下歩行空間の整備とともに、地上部については車道を縮小し歩道を拡幅するという道路空間の再配分を行い、あわせて停車スペースや自転車走行レーンを設置することとしております。

今回は、再配分された道路空間が適切に利用されるためのルールづくりに資する社会実験を行います。具体的には、荷さばき車両やタクシー、一般車、バスの停車スペースを設置し、停車のルール化のための課題を検証するとともに、安心安全な歩行環境を創出するため、歩道上に自転車走行レーンを設置し、自転車の走行ルール化のための課題の検証等を行うものです。

(1) 実施期間 平成 16 年 11 月 11 日（木）午前 10 時～17 日（水）午後 3 時
【7 日間】

(2) 実施場所 札幌駅前通の一区間（北 2 条通～北 3 条通間）

(3) 実施内容

ア 荷さばき車両・タクシー・一般車・バスの停車スペースの設置及び課題の検証
道路空間再配分によって整備される停車スペースについて、ルール化のための課題の検証を行います。

イ 自転車走行レーンの設置及び課題の検証

歩道上の自転車走行レーンについて、ルール化のための課題の検証を行います。

2 創成川通地上部の再整備に関する市民意見の募集について

創成川通アンダーパス連続化事業に伴う地上部の再整備に関して、オープンハウス形式の「まちづくり広場」を設け、広く市民の皆さんから意見を募集します。まちづくり広場では、再整備についてパネルや模型、映像等による説明を行うとともに、市の職員が説明員として常駐し、市民の皆さんからの質問に答えます。

寄せられた意見は、現在、緑を感じる都心の街並み形成計画策定委員会で検討している「創成川通の整備基本計画」に反映していきます。

なお、この基本計画は来年2月には素案を作成し、パブリックコメントを求めた上で、16年度中に策定する予定です。

(1) 場 所

日本生命札幌ビル1階(中央区北3条西4丁目南東側)

(2) 開催日時

平成16年11月11日(木)～16日(火) 午前10時～午後7時 【6日間】

(3) 展示物等

パネル、映像資料、説明資料、意見募集用紙、その他関連資料

(4) 意見募集内容

創成川通地上部の3つの整備イメージ(自然を生かし環境を重視したデザイン、水辺の都市的にぎわいを重視したデザイン、歴史的な原風景を重視したデザイン)と創成川通と大通公園、狸小路・二条市場との交差点の整備イメージをそれぞれ2つ示し、デザインの方向性について聞きます。

(5) その他

駅前通の整備基本計画について意見を聞いた「まちづくり広場」(9月2日～5日)では、約900件の意見が集まりました。

問い合わせ先

札幌駅前通交通社会実験について

企画調整局都心まちづくり推進室都心交通担当課

担当：城戸、久米田 電話 211-2692

創成川通地上部の再整備に関する意見募集について

企画調整局都心まちづくり推進室事業調整課

担当：星、松浦 電話 211-2692